

履 修 要 綱

はじめに

短期大学の教育は学科の基礎教育科目および専門教育科目を学ぶその過程において様々な教養を培い、専門知識や技能を修得し、かつ、お互いの個性を尊重する能力を獲得することによって、社会に貢献できる人材の育成を目的としています。

また、学科に担当されている科目を確実に履修し単位修得しなければ卒業できず、各種資格の取得もできません。そのための必要事項をここに記載しますので、よく確認して学修成果を十分にあげるよう努力してください。

1. 授業科目の単位認定

本学での学修は、すべて単位制になっています。すべての科目について一定の単位数が定められており、その科目の授業を受け、かつ、試験等に合格した場合単位が与えられる制度です。単位の合計が一定数（卒業に要する単位数）を満たした者に対して、卒業が認定されます。

単位とは、学修の量を数値で表したものであり、単位と時間数との関係は短期大学設置基準により

「1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成すること」とされています。1単位の授業時間数は、授業の方法、授業による教育効果、授業時間外に必要な学修などを考慮していくつかの形態に分けられています。【学則第23条】

2. 本学以外の大学等で修得した単位等の認定【学則第26条、27条、28条、29条】

(1) 単位互換制度「NICE キャンパス長崎」による認定

単位互換制度「NICE キャンパス長崎」は、長崎県内のすべての大学（短期大学・高等専門学校含む）が参加し、2001年度からスタートした制度です。この名称は、Nagasaki Intercollegiate（大学間）Credit（単位）Exchange（互換）の頭文字をとってつけられました。

単位互換制度は、各大学が提供する授業科目の中から、希望する科目を履修し、科目開設大学で単位を修得すれば所属大学の単位として認定されます。また、認定された単位のうち、所定の要件を満たすものについては、卒業要件単位として認定することもできます。

各大学の提供科目は配布されるリーフレット・ホームページで確認してください。授業内容、開講曜日時間は「学生募集ガイド」で確認できます。受講したい科目がある場合は、出願票に所要事項を記入し事務局に提出して下さい。

(2) 既修得単位の認定

教育上有益と判断した場合、大学等における既修得単位を本学の開講科目の単位として認定する制度があります。なお、科目名称が同じでも、教育課程内容、科目の位置づけや重要性が異なる場合、単位が認定できない場合があります。

単位認定を希望する者は、入学後直ちに「既修得単位認定申請書」に次の書類を添えて事務局に提出して下さい。

- ① 当該授業科目の成績証明書あるいはそれに代わる書類
- ② 当該授業科目の時間数あるいは単位数を証明する書類
- ③ 当該授業科目の内容のわかるシラバス（授業概要）
- ④ その他教務委員会が提出を求める書類

3. 卒業要件

本学を卒業するためには、2年間で在学し、所定の単位数を修得しなければなりません。仮に、2年生の前期で所要単位を修得しても、在学期間が2年未満のためその時点では卒業できません。【学則第31条】

卒業に必要な単位数は授業科目の区分（基礎教育科目、専門教育科目等）ごとに定められています。なお、授業科目のうち、少なくとも必修科目の単位をすべて修得しないと卒業できませんので十分注意して下さい。

4. 履修

履修登録とは学修しようとする授業科目をあらかじめ届け出ることです。履修登録をしていない科目は、例えば授業に出席しても定期試験が受けられず、結果として単位の修得ができません。また、履修登録はその年度に限り効力を発揮しますので、何らかの事情で科目の履修を次の年度において繰り返す場合は改めて登録することが必要です。

すべての科目には、配当年次が定められています。例えば、配当年次が2年次の科目は、1年生は履修できません。また、次の場合も履修登録できません。

- ① 時間割が重なっている科目を重複して登録する場合
- ② 単位修得済みの科目を再度登録する場合
- ③ 上級年次に配当されている科目を登録する場合
- ④ 通年科目の前半または後半のみを登録する場合
- ⑤ 履修上限単位を超えて履修する場合

学 科 等 名	上限単位
地域共生学科 食物栄養コース	50
地域共生学科 製菓コース	50
地域共生学科 介護福祉コース	50
地域共生学科 国際コミュニケーションコース	50
保育学科	50
専攻科 保育専攻	50

(1) 履修登録の注意点

- ① パソコンやスマートフォンからインターネット上で履修登録が行えます
- ② 履修の登録・変更期限は、授業開始日から原則1週間以内です
- ③ 後期科目についても、後期授業開始日から原則1週間以内であれば変更可能です
- ④ 「再履修」する場合も履修登録が必要です
- ⑤ あらかじめ登録されている必修科目等もあります
- ⑥ 履修科目の追加・変更・削除は、履修登録期間内であれば何度でも行えます

5. 授業時間

時 限	時 間 (午前)	時 限	時 間 (午後)
1 時限	09:10～10:40	3 時限	13:10～14:40
2 時限	10:50～12:20	4 時限	14:50～16:20
		5 時限	16:30～18:00

*行事がある場合は短縮授業になる(80分)。

6. 試験

(1) 定期試験の受験資格

定期試験の受験資格は次の項目に該当している必要があります。

- ①当該科目の授業回数の3分の2以上出席していること（介護実習を除く）
- ②当該科目の履修登録をしていること
- ③学納金等の納付が完了していること

(2) レポート・作品の提出

期日までに提出することが前提となります。提出先（研究室、事務室、その他）と期日・時刻を確認し、時間厳守を心がけてください。

(3) 追試験

やむを得ない事情で定期試験を欠席した人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、追試験願に欠席理由を証明する書類を添付して申し込む必要があります。（受験料 500 円／1 科目）

<主な欠席理由と必要な証明書>

病気または負傷・・・・・・・・・・医師の診断書、処方せん、薬の説明書、レシートなど

公共交通機関の事故・遅延・・・関係機関の証明書

忌引・・・・・・・・・・・・・・・・・・会葬礼状など

※上記に該当しない場合は、事務室に相談してください。

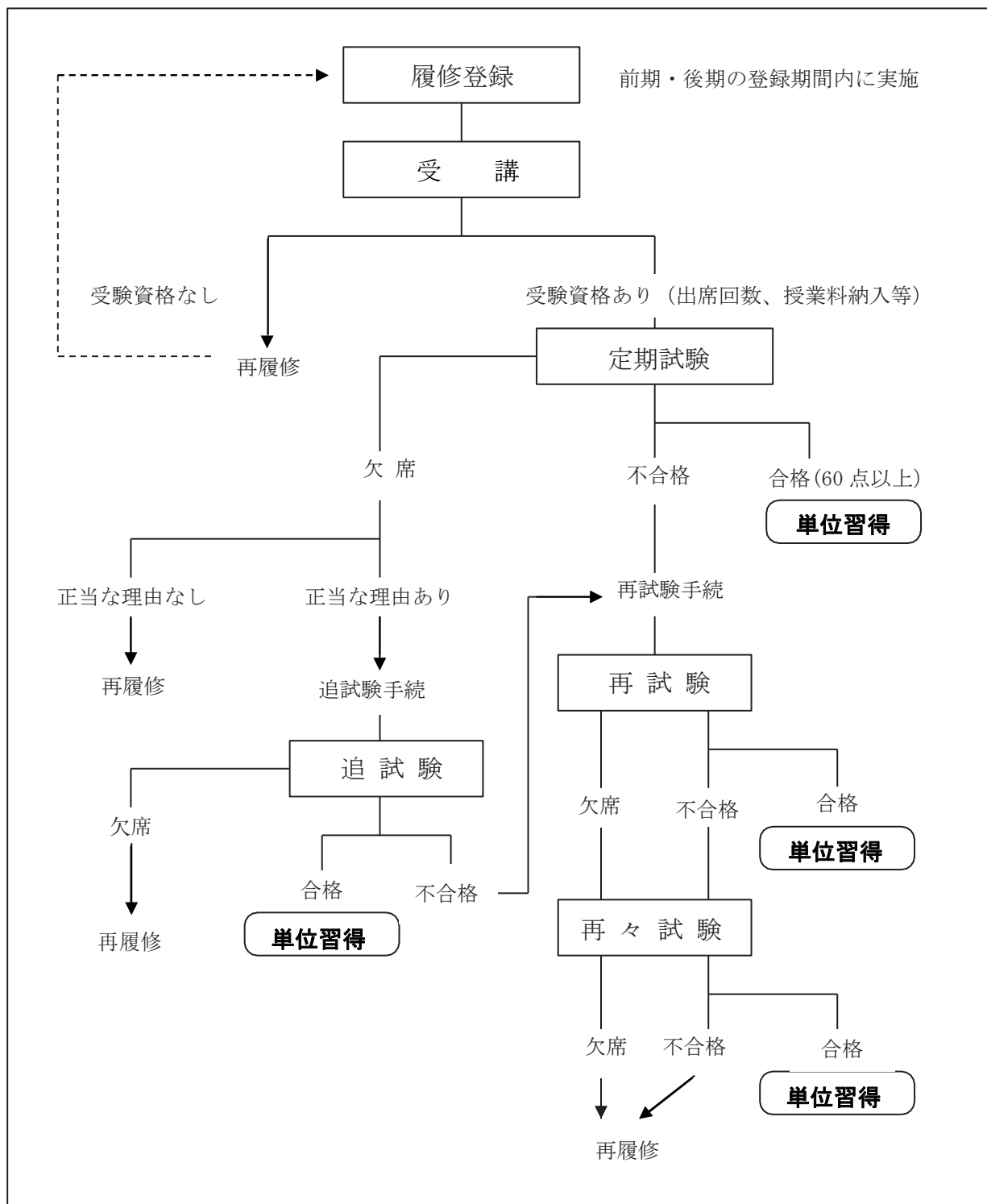
(4) 再試験

定期試験の結果が合格点に達しなかった人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、再試験願に所要事項を記入し申し込む必要があります。（受験料 1,000 円／1 科目）

(5) 再々試験

再試験の結果が合格点に達しなかった人に対し実施される試験で、受験を希望する場合は、再々試験願に所要事項を記入し申し込む必要があります。（受験料 1,500 円／1 科目）

＜参考資料＞履修登録から単位認定までの行程



地域共生学科

(学 科 共 通)

＜令和8・7年度入学生＞

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年		2年		主要授業科目	備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期		
(基礎教育共通科目)	大学教育入門	講義	1		○				◎	
	データサイエンス基礎	講義	1		○				◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○				◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1			○			◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1				○		◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1					○	◎	
	小計(6科目)		6	0						
基礎教育科目(学科共通)	地域と人々	実習	1		○	○			◎	
	地域と職業	講義	1			○			◎	※
	基礎化学	講義		2	○					
	基礎化学実習	実習		1	○					
	心理学	講義		2	○					栄養・製菓は2年前期
	ビジネスマナー	演習		1	○					※
	福祉文化	演習		1		○				
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	○					※
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1		○				※
	Office総合演習	演習		1				○		※
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	○					栄養は2年後期
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	○					
	フランス語Ⅰ	演習		1	○					
	フランス語Ⅱ	演習		1	○					
	日本語Ⅰ	演習		1	○					
	日本語Ⅱ	演習		1	○					
	実践文書作成	演習		1	○					
	スポーツ実習	実習		1		○				
	スポーツ科学	講義		2				○		
小計(19科目)		2	20							
計(25科目)		8	20							

※：実務経験者が担当

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目から10単位以上
- 2 所属するコースの専門教育科目から36単位以上
- 3 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地 域 共 生 学 科

(食物栄養コース)

<令和8・7年度入学生>

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年		2年		主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期	後期	前期	後期		
専 門 教 育 科 目	栄養士論	講義		2	○					※
	公衆衛生学	講義		2				○	◎	
	社会福祉概論	講義		2				○	◎	※
	解剖生理学Ⅰ	講義		2	○				◎	※
	解剖生理学Ⅱ	講義		2		○			◎	※
	解剖生理学実習	実習		1		○			◎	
	運動生理学	講義		2				○	◎	
	生化学	講義		2	○				◎	
	生化学実習	実習		1		○			◎	
	食品学Ⅰ	講義		2	○				◎	
	食品学Ⅱ	講義		2		○			◎	
	食品学実習	実習		1				○	◎	
	食品衛生学	講義		2				○	◎	
	食品衛生学実習	実習		1				○	◎	
	基礎栄養学	講義		2	○				◎	
	応用栄養学	講義		2		○			◎	
	応用栄養学実習	実習		1			○		◎	
	臨床栄養学総論	講義		2		○			◎	※
	臨床栄養学各論	講義		2			○		◎	※
	臨床栄養学実習	実習		1			○		◎	※
	公衆栄養学	講義		2				○	◎	
	栄養指導論Ⅰ	講義		2	○				◎	
	栄養指導論Ⅱ	講義		2			○		◎	
	栄養指導論実習Ⅰ	実習		1		○			◎	
	栄養指導論実習Ⅱ	実習		1			○		◎	
	給食管理論	講義		2		○			◎	※
	給食管理実習Ⅰ	実習		1			○		◎	※
	給食管理実習Ⅱ	実習		1				○	◎	※
	学外実習Ⅰ	実習		1				○	◎	※
	学外実習Ⅱ	実習		1				○	◎	※
	学外実習事前・事後指導	実習		1				○	◎	
	調理学	講義		2	○				◎	
	調理学実習ⅠA	実習		1	○				◎	
	調理学実習ⅠB	実習		1	○				◎	
	調理学実習ⅡA	実習		1		○			◎	
	調理学実習ⅡB	実習		1		○			◎	
	調理学実習Ⅲ	実習		1			○			
	調理学実習Ⅳ	実習		1				○		
	スポーツ栄養学	講義		2		○				
	スポーツ栄養学実習	実習		1			○	○		
	総合演習A	演習		1				○	◎	※
	総合演習B	演習		1					◎	※
	栄養士専門演習	演習		1				○		
小計(43科目)			0	63						

※：実務経験者が担当

長崎短期大学地域共生学科食物栄養コースに関する規程

(平成28年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎短期大学学則6条の2の規定に基づき、食物栄養コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第2条 食物栄養コースを、栄養士養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第3条 養成課程は、栄養士法第1条に規定する栄養士の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第4条 養成課程の学級数は1学年1クラスとし、定員は各学年とも35人とする。

(履修)

第5条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科食物栄養コースに在籍する者に限る。

(授業)

第6条 養成課程の資格取得に係る専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第7条 栄養士資格を得るためには養成課程に所属し、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、栄養士法施行規則別表第1に対応する専門教育科目をすべて修得しなければならない。

(単位の計算方法)

第8条 実験、実習及び実技について、1単位に必要な授業時間数は、学則第23条の規定に関わらず、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間とする。

(事務)

第9条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第10条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日）

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和5年4月1日規程第99号）

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1（第7条関係）

栄養士法施行規則別表第1に規定する教育内容の対照表

栄養士法施行規則			本学開講教育科目			
	教育内容	単位数		科目名	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
専門基礎分野	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
				社会福祉概論	2	
	人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	2	
				解剖生理学Ⅱ	2	
解剖生理学実習				1		
		運動生理学	2			
		生化学	2			
		生化学実習		1		
食品と衛生	6	食品学Ⅰ	2			
		食品学Ⅱ	2			
		食品学実習			1	
		食品衛生学	2			
		食品衛生学実習			1	
専門分野	栄養と健康	8	基礎栄養学	2	1	
			応用栄養学	2		
			応用栄養学実習			
			臨床栄養学総論	2		
			臨床栄養学各論	2		
			臨床栄養学実習			1
	栄養の指導	6	公衆栄養学	2	1	
			栄養指導論Ⅰ	2		
			栄養指導論Ⅱ	2		
			栄養指導論実習Ⅰ			1
			栄養指導論実習Ⅱ			1
	給食の運営	4	給食管理論	2	1	
			給食管理実習Ⅰ			1
			給食管理実習Ⅱ			1
			学外実習Ⅰ			1
学外実習事前・事後指導			1			
調理学			2			
調理学実習ⅠA				1		
調理学実習ⅠB				1		
調理学実習ⅡA				1		
調理学実習ⅡB		1				
小計	36	14	小計	37	15	
合計	50		合計	52		

備考

- 1 栄養と健康及び栄養の指導の実験又は実習は、それぞれ1単位以上行う。
- 2 給食の運営は、学内実習及び校外実習をそれぞれ1単位以上行う。

地 域 共 生 学 科

（ 介護福祉コース ）

<令和8年度入学生>

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要 授業 科目	備考
			必修	選択	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q		
専門 教育 科目	人間の尊厳と自立	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅠ	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義		2							○	○	◎	※
	社会の理解Ⅰ	講義		1		○							◎	※
	社会の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	社会の理解Ⅲ	講義		1							○		◎	※
	介護の基本A	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本B	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本C	講義		4					○	○	○	○	◎	※
	コミュニケーションA	演習		1	○	○							◎	※
	コミュニケーションB	演習		1			○	○					◎	※
	生活支援技術A	演習		4	○	○	○	○					◎	※
	生活支援技術B	演習		2		○	○	○					◎	※
	生活支援技術C	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	生活支援技術D	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護過程Ⅰ	演習		1	○	○							◎	※
	介護過程Ⅱ	演習		1			○						◎	※
	介護過程Ⅲ	演習		2				○	○				◎	※
	介護過程Ⅳ	演習		1						○	○	○	◎	※
	介護総合演習Ⅰ	演習		2	○	○	○	○					◎	※
	介護総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護実習Ⅰ	実習		4	○	○	○	○					◎	※
	介護実習Ⅱ	実習		5				○	○	○			◎	※
	こころとからだA	講義		2	○	○							◎	※
	こころとからだB	講義		2		○							◎	※
	こころとからだC	講義		2			○						◎	※
	こころとからだD	講義		2					○	○			◎	※
	発達と老化の理解Ⅰ	講義		2	○	○							◎	※
	発達と老化の理解Ⅱ	講義		2				○					◎	※
	認知症の理解A	講義		2	○								◎	※
	認知症の理解B	講義		2			○	○					◎	※
	障害の理解Ⅰ	講義		2	○								◎	※
	障害の理解Ⅱ	講義		2			○						◎	※
	医療的ケアA	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアB	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアC	実習		2							○	○	◎	※
	小計（36科目）			78										

※：実務経験者が担当

地 域 共 生 学 科

（ 介護福祉コース ）

<令和7年度入学生>

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年前期		1年後期		2年前期		2年後期		主要 授業 科目	備考
			必修	選択	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q		
専門 教育 科目	人間の尊厳と自立	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅠ	講義		2				○					◎	※
	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義		2							○	○	◎	※
	社会の理解Ⅰ	講義		1		○							◎	※
	社会の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	社会の理解Ⅲ	講義		1							○		◎	※
	介護の基本A	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本B	講義		4	○	○	○	○					◎	※
	介護の基本C	講義		4					○	○	○	○	◎	※
	コミュニケーションA	演習		1	○	○							◎	※
	コミュニケーションB	演習		1			○	○					◎	※
	生活支援技術A	演習		4	○	○	○	○					◎	※
	生活支援技術B	演習		2	○	○							◎	※
	生活支援技術C	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	生活支援技術D	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護過程Ⅰ	演習		1	○	○							◎	※
	介護過程Ⅱ	演習		1			○						◎	※
	介護過程Ⅲ	演習		2				○	○				◎	※
	介護過程Ⅳ	演習		1						○	○	○	◎	※
	介護総合演習Ⅰ	演習		2	○	○	○	○					◎	※
	介護総合演習Ⅱ	演習		2					○	○	○	○	◎	※
	介護実習Ⅰ	実習		4	○	○	○	○					◎	※
	介護実習Ⅱ	実習		5				○	○	○			◎	※
	こころとからだA	講義		2	○	○							◎	※
	こころとからだB	講義		2		○							◎	※
	こころとからだC	講義		2			○						◎	※
	こころとからだD	講義		2					○	○			◎	※
	発達と老化の理解Ⅰ	講義		2	○	○							◎	※
	発達と老化の理解Ⅱ	講義		2			○	○					◎	※
	認知症の理解A	講義		2	○								◎	※
	認知症の理解B	講義		2			○	○					◎	※
	障害の理解Ⅰ	講義		2	○								◎	※
	障害の理解Ⅱ	講義		2			○						◎	※
	医療的ケアA	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアB	講義		2					○	○			◎	※
	医療的ケアC	実習		2							○	○	◎	※
	小計（36科目）			78										

※：実務経験者が担当

長崎短期大学地域共生学科介護福祉コースに関する規程

(令和4年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、長崎短期大学学則第6条の2の規定に基づき、介護福祉コースに関し必要な事項を定める。

(課程の設置)

第2条 介護福祉コースを、介護福祉士養成課程（以下「養成課程」という。）とする。

(養成課程の目的)

第3条 養成課程は、社会福祉士及び介護福祉士法第2条第2項に規定する介護福祉士の養成を目的とする。

(学級数及び定員)

第4条 養成課程の学級数は1学年1クラスとし、定員は各学年とも20人とする。

(履修)

第5条 養成課程を履修できる者は、入学時において学長の許可を受け、かつ、地域共生学科介護福祉コースに在籍する者に限る。

(授業)

第6条 養成課程の資格取得に係る専門教育科目の授業は、単独で行うものとする。

(資格取得)

第7条 介護福祉士の国家試験受験資格を得るためには養成課程に所属し、学則に規定する卒業の要件を充足するとともに、介護福祉士学校指定規則別表第四に規定する教育科目をすべて修得しなければならない。

(受験資格)

第8条 履修科目の受験資格は試験規程第2条によるものとする。ただし、介護実習については、原則として欠席を認めないが、やむを得ない事情がある場合は5分の4以上の出席を条件とする。

(事務)

第9条 この規程の事務は、学生支援課が行う。

(改定)

第10条 この規程の改定は、教務委員会および運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、令和4年4月1日より施行する。

附 則 (令和6年4月1日)

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

介護福祉士学校指定規則別表第四に規定する教育内容の対照表

領域	介護福祉士学校指定規則	時間数	本学開講授業科目	時間数
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	人間の尊厳と自立	30
	人間関係とコミュニケーション	60	人間関係とコミュニケーションⅠ	30
			人間関係とコミュニケーションⅡ	30
	社会の理解	60	社会の理解Ⅰ	16
			社会の理解Ⅱ	30
			社会の理解Ⅲ	16
	人間と社会に関する選択科目	120	大学教育入門	15
			データサイエンス基礎	15
			茶道文化Ⅰ	30
			茶道文化Ⅱ	30
茶道文化Ⅲ			30	
茶道文化Ⅳ			30	
地域と人々			15	
地域と職業	15			
小計	270	小計	332	
介護	介護の基本	180	介護の基本A	60
			介護の基本B	60
			介護の基本C	60
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーションA	30
			コミュニケーションB	30
	生活支援技術	300	生活支援技術A	120
			生活支援技術B	60
			生活支援技術C	60
			生活支援技術D	60
	介護過程	150	介護過程Ⅰ	30
介護過程Ⅱ			30	
介護過程Ⅲ			60	
介護過程Ⅳ			30	
介護総合演習	120	介護総合演習Ⅰ	60	
		介護総合演習Ⅱ	60	
介護実習	450	介護実習Ⅰ	208	
		介護実習Ⅱ	248	
小計	1,260	小計	1,266	
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ	120	こころとからだのしくみA	30
			こころとからだのしくみB	30
			こころとからだのしくみC	30
			こころとからだのしくみD	30
	発達と老化の理解	60	発達と老化の理解Ⅰ	30
			発達と老化の理解Ⅱ	30
	認知症の理解	60	認知症の理解A	30
			認知症の理解B	30
	障害の理解	60	障害の理解Ⅰ	30
			障害の理解Ⅱ	30
小計	300	小計	300	
医療的ケア	医療的ケア	50	医療的ケアA	36
			医療的ケアB	36
			医療的ケアC	60
	小計	50	小計	132
合計	1,880	合計	2,030	

介 護 実 習

1. 介護実習の目的

介護の実体験を通して、学内で学んだ内容を総合的に捉え、介護とは何かを理解・再確認し、介護を实践する基礎的能力を修得する。

2. 介護実習の目標

- (1) 利用者の生活を観察し個別ケアを理解する。また、利用者や家族とコミュニケーションを図り、生活支援技術を確認し、多職種協働や関係機関との連携を通じて介護福祉士の役割を理解する。
- (2) 個別ケアを実施するために、利用者の課題を明確にした上で、個別援助計画の立案や実施後の評価という介護過程を展開する。さらに、こころとからだと、社会の領域で学修した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスを提供する実践力を修得する。

3. 実習指導の方法

- (1) 介護実習時期や期間、介護実習先の設定は実習目標が達成できるように実習施設との調整を図る。また、学内で学んだことを介護実習で実践できるよつに、実習目標を明確にした実習計画を立てる。
- (2) 実習指導者との連絡・報告・相談をすることで、より効果的な介護実習を展開する。
 - ① 介護実習Ⅰについては、実習の意義や目的、内容、実習指導者の役割などについて話し合い、共通の理解が得られるようにする。
 - ② 介護実習Ⅱについては、特に介護過程について実習指導者だけでなく職員ともケースカンファレンスを開催し、実習について共通の理解が得られるようにする。
- (3) 実習担当教員は実習期間中に実習施設を巡回し、個々の学生の実習課題を把握した上で、実習目標の達成状況を確認し、目標達成のための具体的な方法について指導を行う。

巡回教員は実習記録の添削を行い、学生が何を学び、感じとっているのかを把握する。また、実習の課題を学生自らが考え乗り越えられるように指導する。

4. 介護実習の段階と実習場所・目的・期間

【各実習の場所・目的・期間】

	実習の場所	実習目的	単位	時間数
介護実習 I	訪問介護・通所介護実習	在宅介護等の特徴や役割を知り、利用者の生活環境の特性に応じた生活支援の方法を理解する。	4 単位	3 日 (24 時間)
	グループホーム実習	認知症対応型共同生活介護の特徴や役割を知り、利用者の自立支援のための生活支援の方法を理解する。		5 日 (40 時間)
	障害者施設・介護老人福祉施設実習	障害者施設等の特徴や役割を知り、人権を尊重した個別性のある生活支援の方法を理解する。		5 日 (40 時間)
	介護老人福祉施設・介護老人保健施設実習	①介護老人保健施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の心身状況に応じた専門職としての視点、およびチームの一員としての連携の方法を踏まえて、生活支援技術を的確に選択し実践できる。 ③ICF に基づいたアセスメントができる。		9 日 (72 時間)
	リハビリテーション病院・介護医療院実習	①リハビリテーション病院等の概要やチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 ②利用者（患者）の特性（機能障害）に配慮したコミュニケーションの方法を理解する。 ③利用者（患者）とその家族とコミュニケーションを図り、身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解する。 ④ICF に基づいた観察ができる。 ⑤利用者（患者）の ADL、IADL や潜在能力を考えた生活支援の方法を理解する。		4 日 (32 時間)
介護実習 II	介護老人福祉施設・介護老人保健施設・障害者施設実習	①介護老人福祉施設等の特徴や役割を知る。 ②利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する。 ③ICF に基づいたアセスメントができる。	5 単位	8 日 (64 時間)
	長期実習	利用者を総合的に捉え、個別性を踏まえた介護過程を展開することができる。		23 日 (184 時間)

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

< 令和 8 年度入学生 >

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1 年				2 年				主要授業科目	備考		
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成				
専門教育科目	英会話 I	演習		2		○	○							◎	☆	
	英会話 II	演習		1			○							◎	☆	
	英会話 III	演習		1						○				◎	☆	
	英会話 IV	演習		1							○			◎	☆	
	英会話 V	演習		1								○		◎	☆	
	英会話 VI	演習		1									○	◎	☆	
	英語検定 I	講義		2			○							◎	☆	
	英語検定 II	講義		2				○						◎	☆	
	英語検定 III	講義		2						○				◎	☆	
	英語ライティング & グラマール I	講義		2	○											
	英語ライティング & グラマール II	講義		2										○		
	英語演習 I	演習		2							○					
	英語演習 II	演習		2								○	○			
	英語特別演習 I	演習		1					○							
	英語特別演習 II	演習		1					○							
	中国語基礎 I	講義		2	○	○										
	中国語基礎 II	講義		2	○	○										
	中国語基礎 III	講義		2	○	○										
	中国語会話 I	演習		1				○							◎	☆
	中国語会話 II	演習		1								○	○		◎	☆
	中国語検定 I	講義		2						○	○				◎	☆
	中国語検定 II	講義		2						○	○				◎	☆
	中国語検定 III	講義		2						○	○				◎	☆
	中国語ライティング & グラマール I	講義		2				○								
	中国語ライティング & グラマール II	講義		2								○	○			
	中国語特別演習 I	演習		1					○							
	中国語特別演習 II	演習		1					○							
	韓国語基礎 I	講義		2	○	○										
	韓国語基礎 II	講義		2	○	○										
	韓国語基礎 III	講義		2	○	○										
	韓国語会話 I	演習		1				○							◎	☆
	韓国語会話 II	演習		1								○	○		◎	☆
	韓国語検定 I	講義		2						○	○				◎	☆
	韓国語検定 II	講義		2						○	○				◎	☆
	韓国語検定 III	講義		2						○	○				◎	☆
	韓国語ライティング & グラマール I	講義		2				○								
	韓国語ライティング & グラマール II	講義		2								○	○			
	韓国語特別演習 I	演習		1					○							
	韓国語特別演習 II	演習		1					○							
	基礎日本語 I	講義		2	○	○										
	基礎日本語 II	講義		2				○								
	日本語会話 I	演習		2	○										◎	☆
日本語会話 II	演習		2		○									◎	☆	
日本語会話 III	演習		2				○							◎	☆	
日本語会話 IV	演習		2					○						◎	☆	
日本語会話 V	演習		2						○					◎	☆	
日本語会話 VI	演習		2							○				◎	☆	

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考		
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成				
専門教育科目	日本語検定Ⅰ	講義		2	○									◎	☆	
	日本語検定Ⅱ	講義		2				○						◎	☆	
	日本語検定Ⅲ	講義		2						○				◎	☆	
	日本語ライティング & グラマ I	講義		2				○								
	日本語ライティング & グラマ II	講義		2						○						
	日本語演習Ⅰ	演習		2					○	○						
	日本語演習Ⅱ	演習		2							○					
	応用日本語	講義		2						○						
	総合日本語	講義		2							○					
	日本語アクティブラーニング	演習		2								○				
	比較文化研究	講義		2							○					
	異文化理解演習	演習		2	○	○								◎	★	
	国際・時事研究	講義		2								○				
	キャリアガイダンス	講義		2	○	○									※	
	ビジネス文書	講義		2	○	○		留							※	
	実践ビジネスマナー	演習		1		○	○			○	○	留			※	
	ホテル業論	講義		2			○								※	
	ホスピタリティビジネス	講義		2							○	○			※	
	実践グローバル・リーダーシップⅠ	実習		2		○										
	実践グローバル・リーダーシップⅡ	実習		2			○									
	実践グローバル・リーダーシップⅢ	実習		2					○							
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ	演習		1					留	○			◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅱ	演習		1						留	○		◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅲ	演習		1						留	○		◎	★	
	ギャップイヤー	学外学修事前指導	講義		2	○		○						◎	★	
		海外文化事情(留学)Ⅰ	実習		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅱ	実習		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅲ	実習		6				○							
		インターンシップⅠ	実習		2				○						※	
		インターンシップⅡ	実習		2				○						※	
		インターンシップⅢ	実習		2				○						※	
		インターンシップⅣ	実習		2				○						※	
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅰ	実習		2		留		○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅱ	実習		2			留	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅲ	実習		2			留	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅳ	実習		2				○							
		学外学修事後指導	講義		2				留	○				◎	★	
		卒業研究	講義		2							○		◎	★	
		小計(84科目)			0	155										

※：実務経験者が担当

☆：コース選択必修

★：コース必修

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 基礎教育科目から必修8単位を含む10単位以上
- 国際コミュニケーションコースの専門教育科目からコース必修20単位を含む36単位以上
- 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
「異文化理解演習」2単位
 - 「課題解決」については、「Awesome Sasebo!Ⅰ～Ⅲ」3単位
 - 「ギャップターム」については、「学外学修事前指導」「学外学修事後指導」各2単位
 - 「卒業研究」2単位
- 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

地 域 共 生 学 科
(国際コミュニケーションコース)

<令和7年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成		
専門教育科目 コミュニケーション(言語・多文化理解)	英会話Ⅰ	演習		2	○	○							◎	☆
	英会話Ⅱ	演習		1			○						◎	☆
	英会話Ⅲ	演習		1					○				◎	☆
	英会話Ⅳ	演習		1						○			◎	☆
	英会話Ⅴ	演習		1							○		◎	☆
	英会話Ⅵ	演習		1								○	◎	☆
	英語検定Ⅰ	講義		2			○						◎	☆
	英語検定Ⅱ	講義		2				○					◎	☆
	英語検定Ⅲ	講義		2					○				◎	☆
	英語ライティング&گرامーⅠ	講義		2	○									
	英語ライティング&گرامーⅡ	講義		2							○	○		
	英語演習Ⅰ	演習		2					○	○				
	英語演習Ⅱ	演習		2							○	○		
	英語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	英語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	中国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○								
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○								
	中国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○								
	中国語会話Ⅰ	演習		1			○						◎	☆
	中国語会話Ⅱ	演習		1							○	○	◎	☆
	中国語検定Ⅰ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語検定Ⅱ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語検定Ⅲ	講義		2					○	○			◎	☆
	中国語ライティング&گرامーⅠ	講義		2			○							
	中国語ライティング&گرامーⅡ	講義		2							○	○		
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	韓国語基礎Ⅰ	講義		2	○	○								
	韓国語基礎Ⅱ	講義		2	○	○								
	韓国語基礎Ⅲ	講義		2	○	○								
	韓国語会話Ⅰ	演習		1			○						◎	☆
	韓国語会話Ⅱ	演習		1							○	○	◎	☆
	韓国語検定Ⅰ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語検定Ⅱ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語検定Ⅲ	講義		2					○	○			◎	☆
	韓国語ライティング&گرامーⅠ	講義		2			○							
	韓国語ライティング&گرامーⅡ	講義		2							○	○		
	韓国語特別演習Ⅰ	演習		1				○						
	韓国語特別演習Ⅱ	演習		1				○						
	基礎日本語Ⅰ	講義		2	○	○								
	基礎日本語Ⅱ	講義		2			○	○						
	日本語会話Ⅰ	演習		2	○								◎	☆
日本語会話Ⅱ	演習		2		○							◎	☆	
日本語会話Ⅲ	演習		2			○						◎	☆	
日本語会話Ⅳ	演習		2				○					◎	☆	
日本語会話Ⅴ	演習		2					○				◎	☆	
日本語会話Ⅵ	演習		2						○			◎	☆	

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				主要授業科目	備考	
			必修	選択	準備	導入	実践	検証	定着	応用	発展	完成			
専門教育科目	コミュニケーション	日本語検定Ⅰ		2	○								◎	☆	
		日本語検定Ⅱ		2			○						◎	☆	
		日本語検定Ⅲ		2					○				◎	☆	
		日本語ライティング&グラマーⅠ		2				○							
		日本語ライティング&グラマーⅡ		2						○					
		日本語演習Ⅰ		2					○	○					
		日本語演習Ⅱ		2							○				
		応用日本語		2						○					
		総合日本語		2							○				
		比較文化研究		2							○				
		異文化理解演習		2	○	○							◎	★	
		国際・時事研究		2						○	○				
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス		2	○	○				○				※	
		ビジネス文書		2	○	○	○	○						※	
		実践ビジネスマナー		1	○	○					留	留	○	※	
		ホテル業論		2		○								※	
		ホスピタリティビジネス		2								○	○	※	
		実践グローバル・リーダーシップⅠ		2					○						
		実践グローバル・リーダーシップⅡ		2					○						
		実践グローバル・リーダーシップⅢ		2					○						
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ		1						留	○		◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅱ		1							留	○	◎	★	
		Awesome Sasebo!Ⅲ		1								留	◎	★	
	ギャップイヤー	学外学修事前指導		2	○	○	○						◎	★	
		海外文化事情(留学)Ⅰ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅱ		2				○							
		海外文化事情(留学)Ⅲ		6				○							
		インターンシップⅠ		2				○						※	
		インターンシップⅡ		2				○						※	
		インターンシップⅢ		2				○						※	
		インターンシップⅣ		2				○						※	
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅰ		2			○	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅱ		2			○	○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅲ		2				○							
		実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅳ		2				○							
		学外学修事後指導		2				○	○				◎	★	
		卒業研究		2								○	○	◎	★
	小計(84科目)			0	153										

※：実務経験者が担当

☆：コース選択必修

★：コース必修

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 基礎教育科目から必修8単位を含む10単位以上
- 国際コミュニケーションコースの専門教育科目からコース必修20単位を含む36単位以上
- 国際コミュニケーションコース専門教育科目に関して、以下の科目はコース必修とする
 - 「コミュニケーション」については、会話科目4単位以上、検定科目4単位以上
「異文化理解演習」2単位
 - 「課題解決」については、「Awesome Sasebo!Ⅰ～Ⅲ」3単位
 - 「ギャップターム」については、「学外学修事前指導」「学外学修事後指導」各2単位
 - 「卒業研究」2単位
- 基礎教育科目と専門教育科目の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

＜令和8年度入学生＞2年・専攻科コース

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年次				2年次				保育 士	幼稚 園教 諭	主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q				
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		○										◎	
	データサイエンス基礎	講義	1			○									◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○	○									◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1				○	○							◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○					◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○			◎	
	日本国憲法	講義	2		○	○								必	◎	
	ジェンダー論	講義		2			○	○								
	実践国語演習	演習		2			○	○								
	英語Ⅰ	演習	2		○	○								必	◎	
	国際コミュニケーション演習	演習		2			○	○						選		
	保育学特別演習	演習		2			○	○								専のみ
	スポーツ科学	講義	1						○				必	必	◎	
	スポーツ実習	実技	1								○	○	必	必	◎	
	コンピュータ演習	演習		2	○	○								必		※
	保育のICT	演習		2			○	○						選		※
小計（16科目）			12	12												
保育 に 関 す る 専 門 科 目	保育原理	講義	2				○	○					必	必	◎	※
	教育原理	講義	2				○	○					必	必	◎	
	子ども家庭福祉	講義	2						○	○			必		◎	※
	社会福祉	講義	2		○	○							必		◎	
	社会的養護Ⅰ	講義	2		○	○							必		◎	
	保育者論	講義		2					○	○			必	必		
	教育方法論	講義		2					○	○			選	必		
	教育経営論	講義		2						○	○		選	必		
	保育の心理学	講義	2		○	○							必	必	◎	※
	子ども家庭支援の心理学	講義		2						○	○		必			※
	子どもの理解と援助	演習	1							○	○		必	必	◎	※
	臨床心理学	演習		2									選	選		※
	子どもの保健	講義	2		○	○							必		◎	※
	子どもの健康と安全	演習	1				○	○					必		◎	※
	子どもの食と栄養	演習	2				○	○					必		◎	
	子ども家庭支援論	講義		2					○	○			必			※
	カリキュラム論	講義	2				○	○					必	必	◎	※
	保育内容総論	演習	2		○	○							必	必	◎	※
	保育内容演習Ⅰ（健康）	演習		1			○	○					選必①	必		
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	演習		1					○	○			選必①	必		
保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（人間関係）	演習		1						○	○		選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（環境）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（言葉）	演習		1					○	○			選必①	必			

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年次				2年次				保育士	幼稚園教諭	主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q				
保育に関する 専門科目	乳児保育Ⅰ	講義	2				○	○					必		◎	※
	乳児保育Ⅱ	演習		1					○				必			※
	特別支援教育概論	演習		2			○	○					必	必		
	社会的養護Ⅱ	演習		1							○		必			※
	子育て支援	演習		1					○				必			※
	保育相談	講義		2					○	○			選	必		※
	総合保育技術Ⅰ	演習		1	○	○							選	選		
	総合保育技術Ⅱ	演習		1			○	○					選	選		
	総合保育技術Ⅲa	演習		1					○	○			選	選		※
	総合保育技術Ⅳa	演習		1							○	○	選	選		※
	総合保育技術Ⅲb	演習		1					○	○			選	選		
	総合保育技術Ⅳb	演習		1							○	○	選	選		
	総合保育技術Ⅲc	演習		1					○	○			選	選		
	総合保育技術Ⅳc	演習		1							○	○	選	選		
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	演習		1			○	○					選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	演習		1							○	○	選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（マーチングa）	演習		1	○	○							選	選		
	保育内容演習Ⅱ（マーチングb）	演習		1							○	○	選	選		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）	演習		1	○	○							選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）	演習		1			○	○					選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）	演習		1					○	○				選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）	演習		1							○	○		選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅲa）	演習		1												
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅲb）	演習		1												
	子どもと表現（歌唱）	演習		1	○	○							選必②			※
	子どもと表現（造形a）	演習		1			○	○					選必②	選A		
	子どもと表現（造形b）	演習		1							○	○	選必②	選A		
	子どもと表現（リズム）	演習		1			○	○					選必②	選A		
	子どもと健康	演習		1	○								選必②	選A		
	子どもと言語	演習		1	○	○							選必②	選A		
	子どもの心	演習		1							○		選必②	選A		
	保育実習Ⅰ	実習		4				○	○	○			必			※
	保育実習Ⅱ	実習		2						○			選必③			※
	保育実習Ⅲ	実習		2						○			選必③			※
	教育実習	実習		4			○			○				必		※
	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	演習		2	○	○	○	○	○	○			必	必		※
保育実習指導Ⅱ	演習		1					○	○			選必③			※	
保育実習指導Ⅲ	演習		1					○	○			選必③			※	
保育実践演習（教職実践演習 幼稚園）	演習		2							○	○	必	必		※	
総合演習Ⅰ	演習		1					○	○			選				
総合演習Ⅱ	演習		1							○	○	選				
小計（64科目）			24	70												
合計（79科目）			36	82												

※：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必①）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必②）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は5単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必③）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許状取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 2 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 3 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

＜令和8年度入学生＞3年コース

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年次				2年次				3年次				保育士	幼稚園教諭	主要授業科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q	9Q	10Q	11Q	12Q				
基礎教育科目	大学教育入門	講義	1		○													◎		
	データサイエンス基礎	講義	1			○												◎	※	
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○	○												◎		
	茶道文化Ⅱ	演習	1				○	○										◎		
	茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○								◎		
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○						◎		
	日本国憲法	講義	2						○	○								必◎		
	ジェンダー論	講義		2							○	○								
	実践国語演習	演習		2	○	○														
	英語Ⅰ	演習	2		○	○												必◎		
	国際コミュニケーション演習	演習		2							○	○						選		
	保育学特別演習	演習		2																
	スポーツ科学	講義	1											○			必	必◎		
	スポーツ実習	実技	1												○	○	必	必◎		
	コンピュータ演習	演習		2	○	○												必	※	
	保育のICT	演習		2			○	○			○	○						選	※	
小計（16科目）			12	12																
保育に関する専門科目	保育原理	講義	2				○	○									必	必◎	※	
	教育原理	講義	2				○	○									必	必◎		
	子ども家庭福祉	講義	2						○	○							必	◎	※	
	社会福祉	講義	2		○	○											必	◎		
	社会的養護Ⅰ	講義	2					○	○								必	◎		
	保育者論	講義		2									○	○			必	必		
	教育方法論	講義		2									○	○			選	必		
	教育経営論	講義		2										○	○		選	必		
	保育の心理学	講義	2		○	○											必	必◎	※	
	子ども家庭支援の心理学	講義		2										○	○		必		※	
	子どもの理解と援助	演習	1											○	○		必	必◎	※	
	臨床心理学	演習		2													選	選	※	
	子どもの保健	講義	2		○	○											必	◎	※	
	子どもの健康と安全	演習	1								○	○					必	◎	※	
	子どもの食と栄養	演習	2								○	○					必	◎		
	子ども家庭支援論	講義		2					○	○							必		※	
	カリキュラム論	講義	2				○	○									必	必◎	※	
	保育内容総論	演習	2		○	○											必	必◎	※	
	保育内容演習Ⅰ（健康）	演習		1							○	○					選必①	必		
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	演習		1									○	○			選必①	必		
保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	演習		1									○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（人間関係）	演習		1										○	○		選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（環境）	演習		1					○	○							選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（言葉）	演習		1					○	○							選必①	必			

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年次				2年次				3年次				保育士	幼稚園 教諭	主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q	9Q	10Q	11Q	12Q				
保育に関する 専門科目	乳児保育Ⅰ	講義	2								○	○					必		◎	※
	乳児保育Ⅱ	演習		1										○			必			※
	特別支援教育概論	演習		2							○	○					必	必		
	社会的養護Ⅱ	演習		1										○			必			※
	子育て支援	演習		1											○		必			※
	保育相談	講義		2											○	○	選	必		※
	総合保育技術Ⅰ	演習		1					○	○							選	選		
	総合保育技術Ⅱ	演習		1							○	○					選	選		
	総合保育技術Ⅲ a	演習		1										○	○		選	選		※
	総合保育技術Ⅳ a	演習		1											○	○	選	選		※
	総合保育技術Ⅲ b	演習		1										○	○		選	選		
	総合保育技術Ⅳ b	演習		1											○	○	選	選		
	総合保育技術Ⅲ c	演習		1										○	○		選	選		
	総合保育技術Ⅳ c	演習		1											○	○	選	選		
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 a）	演習		1			○	○									選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 b）	演習		1											○	○	選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（マーチング a）	演習		1			○	○									選	選		
	保育内容演習Ⅱ（マーチング b）	演習		1							○	○					選	選		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰ a）	演習		1	○	○											選必②	選 A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰ b）	演習		1			○	○									選必②	選 A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ a）	演習		1					○	○								選 A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱ b）	演習		1							○	○						選 A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅲ a）	演習		1										○	○					
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅲ b）	演習		1											○	○				
	子どもと表現（歌唱）	演習		1			○	○									選必②			※
	子どもと表現（造形 a）	演習		1			○	○									選必②	選 A		
	子どもと表現（造形 b）	演習		1							○	○					選必②	選 A		
	子どもと表現（リズム）	演習		1			○	○									選必②	選 A		
	子どもと健康	演習		1						○							選必②	選 A		
	子どもと言語	演習		1	○	○											選必②	選 A		
	子どもの心	演習		1						○							選必②	選 A		
	保育実習Ⅰ	実習		4									○	○	○		必			※
	保育実習Ⅱ	実習		2										○	○		選必③			※
	保育実習Ⅲ	実習		2										○	○		選必③			※
	教育実習	実習		4							○				○			必		※
	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	演習		2								○	○	○	○		必	必		※
	保育実習指導Ⅱ	演習		1										○	○		選必③			※
	保育実習指導Ⅲ	演習		1										○	○		選必③			※
	保育実践演習（教職実践演習 幼稚園）	演習		2											○	○	必	必		※
	総合演習Ⅰ	演習		1										○	○		選			
総合演習Ⅱ	演習		1											○	○	選				
小計（64科目）			24	70																
合計（79科目）			36	82																

※：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必①）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必②）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は5単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必③）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許状取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 2 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 3 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

保 育 学 科

＜令和7年度入学生＞

科目 区分	授業科目	授業 方法	単位数		1年				2年				保育 士	幼稚 園教 諭	主要 授業 科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q				
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		○										◎	
	データサイエンス基礎	講義	1			○									◎	※
	茶道文化Ⅰ	演習	1		○										◎	
	茶道文化Ⅱ	演習	1				○								◎	
	茶道文化Ⅲ	演習	1						○	○					◎	
	茶道文化Ⅳ	演習	1								○	○			◎	
	日本国憲法	講義	2		○	○								必	◎	
	ジェンダー論	講義		2			○	○								
	実践国語演習	演習		2			○	○								
	英語Ⅰ	演習	2		○	○								必	◎	
	国際コミュニケーション演習	演習		2			○	○						選		
	保育学特別演習	演習		2			○	○								
	スポーツ科学	講義	1									○	必	必	◎	
	スポーツ実習	実技	1									○	○	必	必	◎
	コンピュータ演習	演習		2	○	○								必		※
保育のICT	演習		2			○	○						選		※	
小計（16科目）			12	12												
保育 に 関 す る 専 門 科 目	保育原理	講義	2		○								必	必	◎	※
	教育原理	講義	2						○	○			必	必	◎	
	子ども家庭福祉	講義	2		○	○							必		◎	※
	社会福祉	講義	2			○							必		◎	
	社会的養護Ⅰ	講義	2				○	○					必		◎	
	保育者論	講義		2					○	○			必	必		
	教育方法論	講義		2							○	○	選	必		
	教育経営論	講義		2					○	○			選	必		
	保育の心理学	講義	2				○						必	必	◎	※
	子ども家庭支援の心理学	講義		2					○	○			必			※
	子どもの理解と援助	演習	1								○		必	必	◎	※
	臨床心理学	演習		2									選	選		※
	子どもの保健	講義	2		○								必		◎	※
	子どもの健康と安全	演習	1						○	○			必		◎	※
	子どもの食と栄養	演習	2				○	○					必		◎	
	子ども家庭支援論	講義		2							○	○	必			※
	カリキュラム論	講義	2				○						必	必	◎	※
	保育内容総論	演習	2		○	○							必	必	◎	※
	保育内容演習Ⅰ（健康）	演習		1			○	○					選必①	必		
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	演習		1					○	○			選必①	必		
保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（人間関係）	演習		1							○	○	選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（環境）	演習		1					○	○			選必①	必			
保育内容演習Ⅰ（言葉）	演習		1			○	○					選必①	必			

科目区分	授業科目	授業方法	単位数		1年				2年				保育士	幼稚園教諭	主要授業科目	備考	
			必修	選択	前期		後期		前期		後期						
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q					
保育に関する専門科目	乳児保育Ⅰ	講義	2				○							必		◎	※
	乳児保育Ⅱ	演習		1						○				必			※
	特別支援教育概論	演習		2					○	○				必	必		
	社会的養護Ⅱ	演習		1					○					必			※
	子育て支援	演習		1					○					必			※
	保育相談	講義		2					○	○				選	必		※
	総合保育技術Ⅰ	演習		1	○	○								選	選		
	総合保育技術Ⅱ	演習		1			○	○						選	選		
	総合保育技術Ⅲa	演習		1					○	○				選	選		※
	総合保育技術Ⅳa	演習		1							○	○		選	選		※
	総合保育技術Ⅲb	演習		1					○	○				選	選		
	総合保育技術Ⅳb	演習		1							○	○		選	選		
	総合保育技術Ⅲc	演習		1					○	○				選	選		
	総合保育技術Ⅳc	演習		1							○	○		選	選		
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	演習		1			○	○						選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	演習		1										選	選		※
	保育内容演習Ⅱ（マーチングa）	演習		1			○	○						選	選		
	保育内容演習Ⅱ（マーチングb）	演習		1							○	○		選	選		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）	演習		1	○	○								選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）	演習		1			○	○						選必②	選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）	演習		1					○	○					選A		
	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）	演習		1							○	○			選A		
	子どもと表現（歌唱）	演習		1	○	○								選必②			※
	子どもと表現（造形a）	演習		1			○	○						選必②	選A		
	子どもと表現（造形b）	演習		1							○	○		選必②	選A		
	子どもと表現（リズム）	演習		1	○	○								選必②	選A		
	子どもと健康	演習		1			○							選必②	選A		
	子どもと言語	演習		1	○	○								選必②	選A		
	子どもの心	演習		1				○						選必②	選A		
	保育実習Ⅰ	実習		4			○	○	○	○				必			※
	保育実習Ⅱ	実習		2					○	○				選必③			※
	保育実習Ⅲ	実習		2					○	○				選必③			※
教育実習	実習		4			○		○						必		※	
実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	演習		2			○	○	○	○				必	必		※	
保育実習指導Ⅱ	演習		1					○	○				選必③			※	
保育実習指導Ⅲ	演習		1					○	○				選必③			※	
保育実践演習（教職実践演習 幼稚園）	演習		2							○	○		必	必		※	
卒業研究Ⅰ	演習		1					○	○				選				
卒業研究Ⅱ	演習		1							○	○		選				
小計（64科目）			24	68													
合計（79科目）			36	80													

※：実務経験者が担当

保育士資格取得の要件

基礎教育科目は卒業必修科目を含め12単位以上必要、保育に関する必修科目はすべて必要、保育内容演習Ⅰ（選必①）は5単位以上必要、保育内容の理解と方法（選必②）は4単位以上必要、保育に関する選択科目（選）は5単位以上必要、保育実習に関する選択科目（選必③）は保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱか保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲのいずれか3単位以上必要。

幼稚園教諭二種免許取得の要件

卒業必修科目を含め必修科目はすべて必要、選Aより4単位以上必要。

卒業要件

学生が卒業するためには、短期大学に2年以上在籍し、本学が設定した授業科目を履修し、次の各号に定める単位を修得すること。

- 1 基礎教育科目については、外国語科目（2単位以上）、保健体育科目（講義及び実技2単位以上）を含めた12単位以上必要。
- 2 保育に関する専門科目については、必修科目（24単位）を含め50単位以上必要。
- 3 基礎教育科目（12単位以上）と保育に関する専門科目（50単位以上）の合計62単位以上の修得を卒業の要件とする。

指定保育士養成施設の修業科目等対照表

＜令和8・7年度入学生＞

系列	告示による教科目		本学開講科目		
	教科目	単位数	科目名	単位数	
教養科目	外国語（演習）	2以上	英語 I	2	
			国際コミュニケーション演習	2	
	体育（講義）	1	スポーツ科学	1	
	体育（実技）	1	スポーツ実習	1	
	その他	6以上	大学教育入門	1	
			データサイエンス基礎	1	
			茶道文化Ⅰ	1	
			茶道文化Ⅱ	1	
			茶道文化Ⅲ	1	
			茶道文化Ⅳ	1	
			日本国憲法	2	
			ジェンダー論	2	
			実践国語演習	2	
			コンピュータ演習	2	
		保育のICT	2		
小 計		10以上	小 計		22
保育の 関する 本質的 科目・ 目的 に	保育原理（講義）	2	保育原理	2	
	教育原理（講義）	2	教育原理	2	
	子ども家庭福祉（講義）	2	子ども家庭福祉	2	
	社会福祉（講義）	2	社会福祉	2	
	子ども家庭支援論（講義）	2	子ども家庭支援論	2	
	社会的養護Ⅰ（講義）	2	社会的養護Ⅰ	2	
	保育者論（講義）	2	保育者論	2	
解 に 育 関 の す 対 象 の 科 目 理	保育の心理学（講義）	2	保育の心理学	2	
	子ども家庭支援の心理学（講義）	2	子ども家庭支援の心理学	2	
	子どもの理解と援助（演習）	1	子どもの理解と援助	1	
	子どもの保健（講義）	2	子どもの保健	2	
	子どもの食と栄養（演習）	2	子どもの食と栄養	2	
保 育 の 内 容 科 目 方 法 に 関	保育の計画と評価（講義）	2	カリキュラム論	2	
	保育内容総論（演習）	1	保育内容総論	2	
	保育内容演習（演習）	5	保育内容演習Ⅰ（健康）	1	
			保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	1	
			保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	1	
			保育内容演習Ⅰ（人間関係）	1	
			保育内容演習Ⅰ（環境）	1	
		保育内容演習Ⅰ（言葉）	1		

系列	告示による教科目		本学開講科目	
	教科目	単位数	科目名	単位数
保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法（演習）	4	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）	1
			子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）	1
			子どもと表現（歌唱）	1
			子どもと表現（造形a）	1
			子どもと表現（造形b）	1
			子どもと表現（リズム）	1
			子どもと健康	1
			子どもと言語	1
			子どもの心	1
	乳児保育Ⅰ（講義）	2	乳児保育Ⅰ	2
乳児保育Ⅱ（演習）	1	乳児保育Ⅱ	1	
子どもの健康と安全（演習）	1	子どもの健康と安全	1	
障害児保育（演習）	2	特別支援教育概論	2	
社会的養護Ⅱ（演習）	1	社会的養護Ⅱ	1	
子育て支援（演習）	1	子育て支援	1	
実保育	保育実習Ⅰ（演習）	4	保育実習Ⅰ	4
	保育実習指導Ⅰ（演習）	2	実習指導（保育実習指導Ⅰ・教育実習指導）	2
演習	保育実践演習（演習）	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2
小 計		51	小 計	58
保育の本質・目的に関する科目		6以上	教育方法論	2
保育の対象の理解に関する科目			教育経営論	2
保育の内容・方法に関する科目			臨床心理学	2
			保育相談	2
			保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）	1
			保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）	1
			保育内容演習Ⅱ（マーチングa）	1
			保育内容演習Ⅱ（マーチングb）	1
			総合保育技術Ⅰ	1
			総合保育技術Ⅱ	1
			総合保育技術Ⅲa	1
			総合保育技術Ⅳa	1
			総合保育技術Ⅲb	1
			総合保育技術Ⅳb	1
総合保育技術Ⅲc	1			
総合保育技術Ⅳc	1			
子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）	1			
子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）	1			
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2
			保育実習Ⅲ	2
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1
			保育実習指導Ⅲ	1
小 計		9以上	小 計	28
合 計		70以上	合 計	108

教職課程（幼稚園教諭二種免許状）

＜令和8・7年度入学生＞

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本学開講科目	単位数		備考
				必修	選択	
第教育 第六 十六 条の 免許 法に 施行 定め る規 則科 目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		
	体育	2	スポーツ科学	1		
			スポーツ実習	1		
	外国語コミュニケーション	2	英語 I	2		
			国際コミュニケーション演習		2	
	情報機器の操作	2	コンピュータ演習	2		
			保育のICT		2	
計	8	計	8	4		
領域及び 保育 内容 の指 導法 に関 する 科目	領域 に関 する 専門 的事 項	健康	子どもと健康		1	4 単 位 以 上 選 択 必 修
		人間関係	子どもの心		1	
		環境				
		言葉	子どもと言語		1	
		表現	子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰa）		1	
			子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅰb）		1	
			子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱa）		1	
			子どもと表現（ピアノ・楽典Ⅱb）		1	
			子どもと表現（造形a）		1	
			子どもと表現（造形b）		1	
	子どもと表現（リズム）			1		
	保育内容の指導法		12	保育内容総論	2	
	保育内容演習Ⅰ（健康）	1				
	保育内容演習Ⅰ（表現音楽活動）	1				
	保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	1				
	保育内容演習Ⅰ（人間関係）	1				
	保育内容演習Ⅰ（環境）	1				
	保育内容演習Ⅰ（言葉）	1				
	総合保育技術Ⅰ			1		
	総合保育技術Ⅱ			1		
	総合保育技術Ⅲa			1		
	総合保育技術Ⅲb			1		
	総合保育技術Ⅲc			1		
	総合保育技術Ⅳa		1			
	総合保育技術Ⅳb		1			
	総合保育技術Ⅳc		1			
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究a）		1			
	保育内容演習Ⅱ（保育教材研究b）		1			
	保育内容演習Ⅱ（マーチングa）		1			
	保育内容演習Ⅱ（マーチングb）		1			
	計	12	計	8	22	

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本学開講科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2		
			保育原理	2		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育者論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育経営論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム論	2		
教育法及び指導法、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	4	教育方法論	2		
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	1		
	教育相談の理論及び方法		臨床心理学		2	
			保育相談	2		
教育実践	教育実習	5	教育実習	4		
			実習指導（保育実習指導Ⅰ、教育実習指導）	2		
	教職実践演習	2	保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	2		
計		17	計	27	2	
大学が独自に設定する科目		2	最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得	0		
計		2	計	0		

実習（保育所・施設・幼稚園）の方針

I 保育実習（保育所・施設）

1. 保育実習の目的

保育実習は、本学保育学科（保育士養成課程）で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、子ども・児童に対する理解を通じて保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 保育実習履修の方法

保育実習は、次に掲げる履修方法で実施することとする。

実習種別	選択／必修	単位数	実習日数
保育実習Ⅰ	必修科目	4単位	20日間
保育実習Ⅱ	選択必修科目	2単位	10日間
保育実習Ⅲ	選択必修科目	2単位	10日間

（※実習時間は1日8時間以上×日数とする）

(1) 各実習における実習施設の役割

保育実習Ⅰ

- ① 保育所
- ② 保育所以外の児童福祉施設等

乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、障害児入所施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童発達支援センター、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所

保育実習Ⅱ 保育所

保育実習Ⅲ 実習Ⅰの施設に加え、児童厚生施設等

- (2) 保育実習Ⅰ（必修科目）は、1年後期と2年通年で開講する。実習に関する事前事後の指導1単位（教育実習を含め2単位）のほか、保育所における実習2単位（10日間）および、保育所以外の施設における実習2単位（10日間）の計5単位とする。
- (3) 保育実習を行う(1)に該当する保育所以外の施設への学生の配当は、実習施設の規模、指導担当者の状況などを考慮して本学で定める。
- (4) 保育学科教員は、実習期間中に実習施設を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、主として実習指導を担当する教員が、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行う。

3. 保育実習計画

（令和7年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
保育実習Ⅰ	保育所 施設	2年次	令和8年6月2日（火）～6月12日（金）の内の10日間
		1年次	令和8年2月24日（火）～3月31日（火）の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和8年8月17日（月）～8月27日（木）の内の10日間
保育実習Ⅲ	施設	2年次	令和8年8月17日（月）～9月4日（金）の内の10日間

(令和8年度入学生) 2年・専攻科進学コース

実習種別・実習先		学年	実習期間
保育実習Ⅰ	保育所 施設	2年次	令和9年6月1日(火)～6月12日(土)の内の10日間
		1年次	令和9年2月24日(水)～3月31日(水)の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	2年次	令和9年8月17日(火)～8月31日(火)の内の10日間
保育実習Ⅲ	施設	2年次	令和9年8月17日(火)～8月31日(火)の内の10日間

※実習期間は変更の可能性がある。

(令和8年度入学生) 3年コース

実習種別・実習先		学年	実習期間
保育実習Ⅰ	保育所 施設	3年次	令和10年6月1日(木)～6月13日(火)の内の10日間
		2年次	令和10年2月23日(水)～3月31日(金)の内の10日間
保育実習Ⅱ	保育所	3年次	令和10年8月17日(木)～8月31日(木)の内の10日間
保育実習Ⅲ	施設	3年次	令和10年8月17日(木)～8月31日(木)の内の10日間

※実習期間は変更の可能性がある。

【保育実習資料】

1. 保育実習の日数

科目 (実習種別)	単位	必要 日数	実習期間 (上段②専 下段③)	該当施設	備考
保育実習Ⅰ (必修)	4	10日	1年次の 2月～3月 2年生の 2月～3月	児童福祉施設等 乳児院、母子生活支援施 設、児童養護施設、障害児 入所施設、児童心理治療 施設、児童自立支援施設、 児童発達支援センター、障 害者支援施設、指定障害福 祉サービス事業所	基本的には 学校で実習 先配当を行 う
		10日	2年次の6月 3年次の6月	保育所	学生自身が 依頼する
保育実習Ⅱ (選択必修)	2	10日	2年次の8月 3年次の8月	保育所	学生自身が 依頼する
保育実習Ⅲ (選択必修)	2	10日		児童福祉施設等 乳児院、母子生活支援施設、 児童養護施設、障害児入所施 設、児童心理治療施設、児童 自立支援施設、児童発達支援 センター、障害者支援施設、 指定障害福祉サービス事業所	基本的には 学校で実習 先配当を行 う

2. 実習の形態

＜パターン1＞

「保育実習Ⅰ(必修)」(施設10日+保育所10日)

「保育実習Ⅱ(選択必修)」(保育所10日間)

<パターン2>

「保育実習Ⅰ（必修）」（施設10日+保育所10日）

「保育実習Ⅲ（選択必修）」（施設10日間）

Ⅱ 教育実習（幼稚園）

1. 幼稚園教育実習の目的

幼稚園教育実習は、本学保育学科で習得した教科全体の知識や技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、幼児に対する理解を通じて幼稚園保育の理論と実践との関係について習熟させることを目的とする。

2. 幼稚園教育実習履修の方法

幼稚園教育実習は、次に掲げる履修方法で実施することとする。

実習種別	実習機関	選択／必修	単位数	実習日数
教育実習	幼稚園	必修科目	4単位	20日間

(1) 幼稚園教育実習（必修科目）5単位は、事前事後の指導1単位（保育実習を含め2単位）のほか、幼稚園における実習4単位（4週間）とする。

(2) 幼稚園教育実習4週間の実習期間は、教育効果を考慮して、2期（2週間×2回）に分けて実施する。

(3) 保育学科教員は、実習期間中に実習幼稚園を訪問して学生を指導することを原則とし、これにより難しい場合は、手紙・電話・電子メールなどの通信方法を使って学生の指導を行なう。

3. 幼稚園教育実習計画

（令和7年度入学生）

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	1年次	令和7年11月10日（月）～11月21日（金）の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和8年9月7日（月）～9月18日（金）の内の10日間

（令和8年度入学生）2年・専攻科進学コース

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	1年次	令和8年11月4日（水）～11月17日（火）の内の10日間
	幼稚園（2期）	2年次	令和9年9月6日（月）～9月18日（土）の内の10日間

（令和8年度入学生）3年コース

実習種別・実習先		学年	実習期間
教育実習	幼稚園（1期）	2年次	令和9年11月4日（木）～11月17日（水）の内の10日間
	幼稚園（2期）	3年次	令和10年9月6日（水）～9月20日（水）の内の10日間

※実習には、幼稚園の行事实習（運動会、遊戯会等）を含む場合がある。

※実習期間は変更の可能性がある。

専攻科（保育専攻）

＜令和8年度入学生＞

授業科目		授業方法	単位数		1年				2年				幼稚園一種免	主要授業科目	備考
			必修	選択	前期		後期		前期		後期				
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	幼児英語指導法	講義		2						○	○				
	実践コンピュータ	演習	2				○	○						◎	※
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康特論Ⅰ	演習	1								○		◎	
		子どもと健康特論Ⅱ	演習		1										
		子どもと人間関係特論	講義		2			○	○						
		子どもと環境特論	講義		2				○						※
		子どもと言葉特論	講義		2										
		子どもと表現特論（音楽Ⅰ）	演習	1		○	○							◎	
		子どもと表現特論（音楽Ⅱ）	演習		1										
		子どもと表現特論（造形Ⅰ）	演習	1		○	○							◎	
	子どもと表現特論（造形Ⅱ）	演習		1											
	保育内容の指導法	保育内容（表現音楽）研究Ⅰ	演習	2						○	○			◎	
		保育内容（表現音楽）研究Ⅱ	演習		2										
		保育内容（表現造形）研究Ⅰ	演習	2								○	○	◎	
		保育内容（表現造形）研究Ⅱ	演習		2										
		保育内容（人間関係）研究	演習	2						○	○			◎	
保育内容（環境）研究		演習		2	○	○									
保育内容（言葉）研究	演習		2	○	○										
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育原理特論	講義	2			○						◎		
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容	保育職特論	講義	2							○	○	◎		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	保育経営論	講義	2			○						◎	※	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	心身の発達と学習過程	講義	2			○	○					◎		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育特論	講義		2										
	教育課程の意義及び編成の方法	カリキュラム特論	講義		2					○	○			※	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	臨床心理学特論	講義		2										
	教育相談の理論及び方法	保育児童（子育て）相談	講義	2						○	○		◎		

授 業 科 目		授業 方法	単位数		1 年				2 年				幼稚園 種免	主要 授業 科目	備考		
			必修	選択	前期		後期		前期		後期						
					1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q					
その他の科目	子どもと道徳	講義		2													
	ホスピタリティ論	講義	2									○		◎			
	障害福祉論	講義	2									○	○	◎	※		
	子ども家庭援助技術特論	講義		2					○	○							
	子ども家庭福祉特論	講義	2		○	○								◎	※		
	世代間交流論	講義		2								○	○				
	保育者看護論	講義		2					○	○						※	
	児童文化研究	講義		2				○									
	保育実践特別研究Ⅰ	演習		2	○	○										※	
	保育実践特別研究Ⅱ	演習		2			○	○								※	
	保育実践特別研究Ⅲ	演習		2					○	○						※	
	保育実践特別研究Ⅳ	演習		2								○	○			※	
	修了研究Ⅰ	演習	2		○	○									◎		
	修了研究Ⅱ	演習	2				○	○							◎		
	修了研究Ⅲ	演習	4						○	○	○	○			◎		
	文書講読プレゼンスキル演習	演習		2	○												
	生涯スポーツ	演習		1									○				
	芸術論	講義		2									○				
合計			35	48													

※：実務経験者が担当

修了の要件

必修科目35単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

専 攻 科 (保育専攻)

<令和7年度入学生>

授 業 科 目		授業方法	単位数		1年				2年				幼稚園一種免	主要授業科目	備考		
			必修	選択	前期		後期		前期		後期						
					1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	6Q	7Q	8Q					
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	幼児英語指導法	講義		2						○	○						
	実践コンピュータ	演習	2				○	○						◎	※		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康特論Ⅰ	演習	1								○		◎			
		子どもと健康特論Ⅱ	演習		1												
		子どもと人間関係特論	講義		2			○									
		子どもと環境特論	講義		2				○								※
		子どもと言葉特論	講義		2												
		子どもと表現特論(音楽Ⅰ)	演習	1		○	○								◎		
		子どもと表現特論(音楽Ⅱ)	演習		1			○	○								
		子どもと表現特論(造形Ⅰ)	演習	1		○									◎		
	子どもと表現特論(造形Ⅱ)	演習		1		○											
	保育内容の指導法	保育内容(表現音楽)研究Ⅰ	演習	2							○				◎		
		保育内容(表現音楽)研究Ⅱ	演習		2								○				
		保育内容(表現造形)研究Ⅰ	演習	2									○		◎		
		保育内容(表現造形)研究Ⅱ	演習		2												
		保育内容(人間関係)研究	演習	2								○			◎		
保育内容(環境)研究		演習		2	○	○											
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	保育原理特論	講義	2				○						◎			
		教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容	保育職特論	講義	2							○			◎		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	保育経営論	講義	2				○						◎	※		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	心身の発達と学習過程	講義	2				○	○					◎			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育特論	講義		2												
	教育課程の意義及び編成の方法	カリキュラム特論	講義		2						○	○					※
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	臨床心理学特論	講義		2											
教育相談の理論及び方法		保育児童(子育て)相談	講義	2						○				◎			

授 業 科 目		授業 方法	単位数		1 年				2 年				幼稚園 種免	主要 授業 科目	備考	
			必修	選択	前期		後期		前期		後期					
					1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	5 Q	6 Q	7 Q	8 Q				
その他の科目	子どもと道徳	講義		2												
	ホスピタリティ論	講義	2									○		◎		
	障害福祉論	講義	2								○	○		◎	※	
	子ども家庭援助技術特論	講義		2					○							
	子ども家庭福祉特論	講義	2		○	○								◎	※	
	世代間交流論	講義		2						○						
	保育者看護論	講義		2						○						※
	児童文化研究	講義		2				○								
	保育実践特別研究Ⅰ	演習		2	○	○										※
	保育実践特別研究Ⅱ	演習		2			○	○								※
	保育実践特別研究Ⅲ	演習		2					○	○						※
	保育実践特別研究Ⅳ	演習		2							○	○				※
	修了研究Ⅰ	演習	2		○	○								◎		
	修了研究Ⅱ	演習	2				○	○						◎		
	修了研究Ⅲ	演習	4						○	○	○	○		◎		
	文書講読プレゼンスキル演習	演習		2	○											
	生涯スポーツ	演習		1								○				
	芸術論	講義		2								○				
合計			35	48												

※：実務経験者が担当

修了の要件

必修科目35単位は必ず履修し、62単位以上の修得を修了の要件とする。

教職課程（幼稚園教諭一種免許状）

＜令和8・7年度入学生＞

免許法施行規則に定める科目区分		最低 単位数	本学開講科目	単位数		備考	
				必修	選択		
第六十六 条の 6	日本国憲法	0(2)					
	体育	0(2)					
	外国語コミュニケーション	0(2)	幼児英語指導法		2		
	情報機器の操作	0(2)	実践コンピュータ	2			
	計	0(8)	計	2	2		
領域及び 保育内容 の指導法 に関する 科目	領域に 関する 専門的 事項	健康	子どもと健康特論Ⅰ	1			
			子どもと健康特論Ⅱ		1		
		人間関係	子どもと人間関係特論		2		
			子どもと環境特論		2		
		言葉	子どもと言葉特論		2		
			子どもと表現特論（音楽Ⅰ）	1			
		表現	子どもと表現特論（音楽Ⅱ）		1		
			子どもと表現特論（造形Ⅰ）	1			
	子どもと表現特論（造形Ⅱ）			1			
	複数の事項を合わせた科目						
	保育内容の指導法	保育内容（表現音楽）研究Ⅰ	2				
		保育内容（表現音楽）研究Ⅱ		2			
		保育内容（表現造形）研究Ⅰ	2				
		保育内容（表現造形）研究Ⅱ		2			
		保育内容（人間関係）研究	2				
保育内容（環境）研究			2				
保育内容（言葉）研究			2				
計	4(16)	計	9	17			
教育の 基礎的 科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4(10)	保育原理特論	2			
	教職の意義及び教員及び教員の役割・職務内容		保育職特論	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		保育経営論	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		心身の発達と学習過程	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育特論		2		
	教育課程の意義及び編成の方法		カリキュラム特論		2		
	等指導に 関する 科目		教育の方法及び技術	0(4)			
指導に 関する 科目	幼児理解の理論及び方法	臨床心理学特論	2				
指導に 関する 科目	教育相談の理論及び方法	保育児童（子育て）相談	2				
実践 教育	教育実習	0(5)					
	教職実践演習	0(2)					
計		4(17)	計	10	6		

最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

注）括弧内の数値は幼稚園教諭二種免許状取得に係る単位数を含んだ単位数を示す。